

# 広報 しんち

8月1日現在

🏠	1.899世帯
♂	男 4.149人
♀	女 4.346人
合計	8.495人

42号

49 / 9



心のこもる  
その一言だけでも  
かけましよう

ひとり暮らしに  
いたわりを

とじておまかせしよう。

## 老後のしあわせ

人は誰でもが「しあわせ」になることを願っています。それは自分も持っている欠陥を補なおうとする願いでもあり、自分のもつ欠陥のうち、最大のものをますうめることによって幸福感をえようとするのです。

幸福感には限度というものはありません。幸福感とは、本来は客観的なものではなく、その人の主観にもとづくものなのです。

老後のしあわせとは、充実した老人福祉施策、明るい家庭環境、あたたかい人間関係などいろいろありますが、もっとも大切なものは、老人自身の自覚です。自分はもう老人であるからなにもすることはない、ただ老後をすごすのだと考えていてはだめです。

老人も社会の正常な一員です。それである以上は、老人も社会にあって老人としての役割りを積極的に果たし、その努力によって孤独から自分を解放し、常に社会にたいする有用感をもって生きがいのある生活を送ることが「老後のしあわせ」なのです。



# 医療費一六パーセント値上げ

## 医療費の節約にご協力を

医療費は十月一日から二六パーセント上げられます。

二月に一七・五割の値上げがあったばかりですから、年初から通算すると三

六・三割という大幅な値上げになります。

今回の値上げの理由は、一般物の値の値上がりに伴う医療機関の経営危機打開のため、というところに

### 医療費節約にご協力ください

なっておりますが、しかし、既にかかり深刻な状態にある国民健康保険の財政に支えられてきた医療費は、もともと、毎年ふえる傾向にあります。とくに最近はおとしよりの医療費無料化にともな

なっておりますが、しかし、既にかかり深刻な状態にある国民健康保険の財政に支えられてきた医療費は、もともと、毎年ふえる傾向にあります。とくに最近はおとしよりの医療費無料化にともな

なっておりますが、しかし、既にかかり深刻な状態にある国民健康保険の財政に支えられてきた医療費は、もともと、毎年ふえる傾向にあります。とくに最近はおとしよりの医療費無料化にともな

なっており、この増加の傾向は一段とスピードを早め国保の財政に深刻な影響を与えております。それに加えて今回の大幅な値上げです。

国保の財政は、正に危機的状況にあるといえます。

このまま推移すれば、皆様がたに御負担いただいている保険税の値上げも、考えざるを得ない状況が将来予想されるおそれがあります。

国保財政を破局から救うため、何とぞ、医療費の問題に深い御関心をお寄せいただき、医療費節約に御協力くださるようお願い申し上げます。

### 医療費節約のお願い

なるべく往診を

さげましょう

往診(二キロ、五〇〇円)はできるだけ避けたいものです。

往診の場合、お医者さまは、簡

単な器具などしか持ってゆかれませんから、本格的に診療をうけるなら、どうしてもお医者さんのホームグラウンドである病院、診療所へ出かけてみてもらう方がよいのです。

往診は必要やむを得ないときに限るべきです。

また、深夜(一、五〇〇円加算) 休日(一、〇〇〇円加算)、時間外(三〇〇円加算) 受診は、お医者さんに面倒をかけるばかりか医療費の面でも馬鹿になりません深夜や休日に診療をうけるのはよくよくの場合であることは分ります。しかし、注意さえしていれば、これを避けることは決して不可能ではありません。

### 治療より予防を

病気になるまで治療をうけるより病気になるよう予防につとめましょう。

ふだんから体力が充実していれば、少々の病気はうつけません。そのためには、平素の心がけが大切です。

夜ふかしをやめ、睡眠と休養を十分とって、過労をさける、偏食

をやめて、あらゆる食物をまんべんなくとる、適度の運動をしてからだを鍛える、などを心がけましょう。



### 早期発見・早期治療

病気は早いうちに発見し、早く治療するのが理想的です。ところが、からだに悪いところがないとかく健康に無関心です。その無関心の間に、病気がひそかに進行している場合が少なくありません。それを早期に発見するのが健康診断です。健康診断をうける機会があったら、面倒がらず積極的に逃がさずうけるよう心がけましょう。

### 家庭医を

もちましよう

家庭医とは、身近にいて、一家の健康のことはなんでもうちとけて相談できるお医者さんのことです。からだの具合が悪いときは、まず家庭医にみてもらおう。

そしてむずかしい病気だったら家庭医を通して専門医なり大病院へ紹介してもらおうのが望ましい治療のうけ方です。

### お医者さんを信じること

かかっているお医者さんを信ず

それをこの自然から学ぶ。そこに土も石も草も木もある。そこから建築がのびてくる。(中略) 建築と自然のそして対人間の敵対なる事実として必要が必然性を帯びて具象する創作の二元鏡。建築家はこの天領に住する。そして建築家はそこから生れる。彼は全幅の感激をこの天領に吞

### 臥牛城

山口

(2)

久夫

しかしそれから更に約三百年の歳月が流れ東北を動乱の巻と化した戊辰戦争となり、臥牛城は伊達藩南境の要害として、西仙西軍の激戦場となり、しかも西軍に転じた相馬藩にとっては、かつては自領の城に、あまつさえ西軍の先鋒として攻防幾度か繰返し、共に潮血で大地を真紅に染めたことは誠に奇しき因縁ではある。国破れて山河ありとか、かつての転変無常の姿をこの城はとこしえに忘れ得ないことであろう。なお余談ではあるが、新日本黎明の礎となった数多くの戊辰戦没者の名が旧国道没い駒ヶ嶺町北端の碑に刻まれ、梅の古木の根方にひっそりと眠っている。誠に感慨無量

附記。臥牛城という城名は多く

巨理城も臥牛城であり宮城県花山ダムの阿部貞任が籠城したという城も臥牛城である。又福島市大森城山にある大森城(白鳥城、鷹峰城)も一名臥牛城と呼ばれた。

### 郷土の人々

遠藤 新 (1)

「ライトに就いて 遠藤 新 ミケランジェロが暮をおろして、世界の建築は暗に入った。そしてその暗は、二十世紀まで続く。二十世紀になって、暗を破ろうとする声が見えた。然しそれは自身に於て光でなかった。

アールヌーボーは自縛したままあせて薄に墮ちた。

セセッション(分離派の意)は自分でミイラになるだけのことである。

暗を破るものは、結局光でなければならぬ。

ライト氏は実にその光である。世の中には淋しいほど正義が少い。正義を志すことすら容易でない。まして正義を貫くことは、まさに天才の仕事である。芸術は妥協によって直ちに墮落



世界的建築家、フランク・ロイド・ライトの弟子として、日本の建築界に大きな足跡を残した「遠藤新」は、福田大町の出身である。明治二十三年に生れ、福田小学校、新地高等小学校、相馬中学校、仙台二高を経て、大正四年に東京帝大工学部建築学科を卒業した。在学中に明治神宮宝物殿の懸賞設計に応募し、三席に当選した。大正五年にライトが帝国ホテル設計のため来日し、遠藤新は、ライトに師事することになった。

大正七年に帝国ホテルの設計が完成し、ライトと共にアメリカに行き一年八カ月をわたってライトのもとで建築学の勉強を

して帰国した。

大正八年に帝国ホテルの起工が行なわれ、大正十一年に完成したがこの工事の監督に全力をあげた大正十年から本格的な設計活動に入り、「自由学園」をはじめ、犬養教邸、日比谷各相五店舗集団、日比谷東洋軒、東京帝大キリスト青年館、甲子園ホテル等を設計した。

昭和八年に満州に渡り、昭和二十年の終戦まで、主として満州の都市建設に活躍し中銀社宅集団、奉天警察庁講堂、新京満鉄総裁公館等の設計を行なった。

この間建築関係の論文として「地震と建築」「ブラックブラック」「一文字屋根建築大系(勾配屋根の建築理念)」「悦びでない悦び」「発生的に考える建築の社会性」「哲学なき教育と校舎」などを発表した。

遠藤新は、ライトに傾倒し、常にライトの真髄に迫ろうと努力していた。帝国ホテルが完成したとき、次のように書いている。

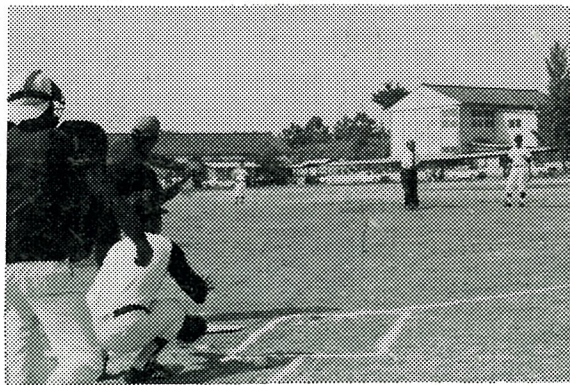
「まず地所を見る。地所が建築を教えてくれる。いかに建築が許されるか。いかに生活が許されるか。そして生活が展げられるか。」



# 優勝は多摩精密

## 町民親善野球大会

町民親善野球大会は八月十一日 結果はつぎのとおりです。  
午前八時から十チームが参加し、  
トーナメント方式で争われ、多摩  
精密チームが初優勝しました。



- 一回戦
  - 多摩研磨 15 — 0 福田青年
  - 多摩研磨 10 — 2 オール福田
- 二回戦
  - 多摩研磨 8 — 6 商工会
  - 駒ヶ嶺 6 — 3 役場
  - 荒井 5 — 1 杉目
  - 多摩精密 7 — 6 前沢電機
- 準決勝
  - 駒ヶ嶺 8 — 1 多摩研磨
  - 多摩精密 5 — 4 荒井自動車
- 決勝
  - 多摩精密 8 — 1 駒ヶ嶺



# 節税と経営の合理化に青色申告を

## 始めましょう

青色申告をすると、青色申告控除や青色専従者給与のほか数多くの特典があり税金は安くなります。例えば、青色申告をしている人で事業専従者が妻と長男、扶養親族子供二人の平均的なお店の場合の税金(国税・地方税の合計)は青色申告をしない人の約半分以下の負担で済み、非常に節税ができて経営の合理化にも役立ちます。なお、今年から記帳方法が簡単になり青色申告がしやすくなりましたので、この制度のご利用をお勧めします。



七月届出

▽出生  
おめでとうございます

- 友子 加藤 文夫 原
- 和成 吉田 正一 藤崎
- 信行 佐藤 征一 高田
- 由美子 小野 末治 小川
- 勝博 石田 武芳 城内
- 涼子 目黒 達三 駒町
- 弘二 加藤 次雄 杉目
- 暁子 横山 昌一 今泉
- 義紀 小賀坂義廣 釣師
- 紀忍 草刈 好一 中里
- 千恵子 西谷 里志 大戸
- 安廣 佐藤 幸雄 富倉
- 一宏 目黒 俊一 下真弓

▽死亡

お悔み申しあげます

- 斉藤 福寿 菅谷
- 宍戸 部 大戸
- 鈴木コキン 沢口
- 渡辺 養治 作田
- 清野 敏 中島
- 横山 梅雄 今泉

# 町長日誌

七月

- 21日 町民ソフトボール大会
- 22日 真弓地区ほ場整備事業起工式
- 23日 県肢体不自由児母の会大会
- 24日 県社会教育委員会
- 25日 衛生組合特別委員会
- 26日 新地町国保運営協議会
- 27日 県消防ポンプ操法競技会相馬地方予選会
- 31日 県青年問題協議会部会合同会議
- 八月
- 2日 県連合水防演習
- 3日 相馬地方市町村会定例会
- 5日 交通安全協会相馬支部役員会
- 6日 真野ダム関係折衝(飯館) 県町村会正副会長会・同理事會
- 7日 臨時議会
- 8日 土地改良区役員視察研修 (山形県9日まで)
- 11日 町民野球大会
- 16日 殉職警察官慰霊祭
- 20日 防犯協会新地支部総会